

# 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンラインプログラム
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300字程度)	
<p>このプログラムでは正確な発音の仕方や会話の表現の仕方、それに加えてグループレッスンでの英語を用いたコミュニケーションの仕方を学ぶことができた。特に役にたったと感じたことが、苦手意識のあった発音がかなり正確になったことと、膨大な会話量によって鍛えられた、英会話瞬発力であった。参加する前に比べて表現の幅が広がり、自分の中で言いたいことが言えず、モヤモヤする時間がかなり減ったと感じた。また以前、自分オンラインではなくは現地に行くタイプの短期留学に参加した経験があるが、その際と比べて、比較的自主学習の時間を多く確保することができたと感じる。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300字程度)	
<p>特に一番学習になったなと感じたことが、オンラインのプログラムであったからこそ、伝えることの難しさを感じる場面が多かったということだ。実際に伝えたいことを現物で示するのが難しい場面では伝えるのに苦労する場面があったが、その困難があったからこそ、言語を通じて表現する力がついたと感じた。また、英語を使うことだけでなく、英語という言葉をはかきに楽しむかということを考えさせられ、英語そのものに対する関心が高くなった。仮にこのプログラムが授業だけのものだった場合、ここまで得られたものはなかったのではないかと感じる。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300字程度)	
<p>メリットは自主学習の時間を圧倒的に確保できたことなのではないかと感じた。その日の授業内で学んだこと、表現などを自分の能動語彙になるまで復習の時間を確保できたことは、実際に現地に行く留学に比べて大きなメリットになったと思う。デメリットとしては授業のレベルが少し平易すぎると感じたところだった。プログラムの中で基礎的な文法事項を説明される時間があつたが、それらはどれも熟知していたため、その説明の時間は他の有益な活動に充てられたのではないかと感じる。しかし全体的にはかなりの量の経験値を積むことができたため、ほとんどどの学習も役にたったと感じた。</p>	
オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300字程度)	
<p>プログラム時間外での英語学習を怠らないことだと感じる。自分は平日の5時間のプログラムに加えて、平日は8時間、休日は14時間の勉強時間を確保し、常に英語に触れている環境を3週間の間作り続けた。かなり負荷のあるスケジュールではあつたが、TOEICの点数の飛躍的な向上にもつながつた。日々の勉強の中でどんなに些細なことでもいいので常に勉強に関する成功体験を作り続けることが誰にでも効果のあるモチベーションの保ち方なのではないか。それに加え、自分は将来海外で働きたいという揺るぎない夢があつたため、どんなに挫折しそうになつても勉強する努力を怠らなかつた。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300字程度)	
<p>プログラムを通して一番変わったと感じたのが、英語を話すことに対する抵抗がなくなつたと感じたことだつた。どう表現したらいいかわからず、言葉がつかえて沈黙の時間が続いてしまうことが圧倒的に少なくなり、コミュニケーションとしての英語が成り立つようになったと強く感じた。またこのプログラムは自分の英語学習の重要な通過点だと考えているので、ここからさらに日々の勉強で意識的な英会話学習を毎日継続し、大学卒業までに英会話に関して全く不安のない状態にまで仕上げたいと思う。学校の授業でも積極的にACE(政治経済学部の英語プログラム)を受講し、継続と向上を意識した学習にしていきたい。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。	

# 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300字程度)

3週間のプログラムでは、1日5時間の授業が行われました。3時間のマンツーマン授業では、講師とフィリピンと日本の文化の違いや身近な話題について話したり、アメリカ英語の発音を指導していただきました。2時間のグループ授業では、毎日1つのテーマに沿ってディスカッションをしました。このプログラムを通して、英語で自分の意見を伝えることに自信が持てるようになりました。講師の方々は授業内でたくさん発言の機会を設けてくださったので、自然と積極性を伸ばすことが出来ました。また、何となくだった発音も単語ごとに丁寧に指導していただけたので、理解が深まりました。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300字程度)

オンラインプログラムだったため、現地の学生との交流はありませんでした。授業以外では、プログラム初日と最終日にオリエンテーションと修了式が行われました。オリエンテーションでは、授業システムと教材の使用について丁寧な説明がありました。その際、プログラムに参加しているメンバーと講師の方々と写真を撮りました。授業中もたくさん写真を撮っていただき、フィリピン人のフレンドリーな人柄を感じました。修了式では、参加メンバーのスピーチとスライドショーがありました。3週間という短期間ではありましたが、スライドショーで日々の学習を振り返ることが出来て、自分の成長を実感しました。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300字程度)

メリットは、オンラインプログラムなので比較的安く受講出来たことです。自分のレベルに合った丁寧な指導を受けることが出来たので非常に満足でした。私は語学研修に参加するのが初めてでしたが、現地研修に向けた準備段階として参加しやすいと感じました。また、他の予定と両立して取り組めました。デメリットは、授業中にパソコンの接続が切れてしまって、講師の方やグループのメンバーを待たせてしまう可能性があったことです。また、毎日5時間パソコンの画面を見ていると少し疲れました。1時間のお昼休憩があったので、その間に体を動かしたりしていました。

オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300字程度)

日本とフィリピンの時差はちょうど1時間でした。スケジュールがどちらの時間になっているかは注意深く確認しました。私の授業は日本時間の11時から行われましたが、予習・復習の時間を決めて規則正しい生活を送ることを心掛けました。マンツーマン授業では、講師と授業の導入として今日の昼食や昨日あった出来事について話して、自分のことを知ってもらえて嬉しかったです。講師は1つの話題を深掘りしてくださったので、私も講師に積極的に質問をしていました。グループ授業では、日本の文化を1つ取り上げて紹介することがあったので、表現を工夫して、わかりやすく伝えられるようにしていました。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300字程度)

プログラム参加前は、英語を話すことに対して自信がなく、上手く話せているかどうかを気にしていましたが、参加後は失敗を恐れず、積極的に自分の意見を伝えることの大切さに気がきました。また、毎日英語にふれることで4技能を伸ばすことが出来たので、今後は英語にふれる機会をさらに増やしていきたいです。私は将来、日本人だけではなく、外国人に向けて自分が住む地域の魅力を伝える仕事をしたいと考えています。そのため、大学生活では現地研修や海外ボランティアなどにも参加して、多様な表現を身に付けるとともに発信力を磨いていきたいと思えます。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

# 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

プログラムでは一日2時間のグループ学習と3時間のマンツーマン授業があり、様々なトピックについて話をしました。印象的なものは人間の性格や将来、宇宙などの話題で、例えば「宇宙を探索することについてどう思うか」といった日本語でも自分の考えとぴったりに合う言葉を探しながら発言するような深い内容が多かったです。だからこそただ英語をどう使うかよりも、どう自分の意見を英語を使って伝えるかに焦点を当てることができるようになりました。意見を伝えることに意識が向いてこの例示やこの言葉も使えそうかな、と柔軟に思考することができたこと、教授や他の参加者の言い回しから学ぶことなどにより、英語が出てくるまでがスムーズになりました。また今までは英語を読んだり聞いたりしてから和訳していたものが、英語と同時進行か少し遅れる程度で、かつ部分的に和訳をするようになりました。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

オンラインだと授業外で交流を持つのは難しかったです。画面を閉じるといつもの環境に戻るため、どうしても現地派遣の授業だけを取り出す状態になります。ただ、LINE グループでの連絡は英語で行われるし授業も3週間続いたため、ただ日本でフルイングリッシュの授業に参加してみるというよりは、海外の英語のプログラムに参加しているという自覚を持つことができました。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)

メリットは参加へのハードルが現地派遣よりもかなり低くなることです。生活自体は授業があることを除き変わらないため生活環境の変化によるストレスがかからないし、費用も抑えることができます。少し英語に興味がある、留学の前準備をしたいなど、それぞれの望む程度に合わせて現地派遣かオンラインか選択すればよいと思います。私の場合研究をしたいなら英語の論文を読む必要があるため、英語に慣れることを目的に参加しました。デメリットは、ほぼ24時間英語漬けになる現地派遣に比べると強烈さに欠けるため比較すると効果は薄いということです。また、異文化交流や授業外でのコミュニケーションをするのは難しいと思います。

オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)

休憩が1時間に1回5分程あるので、その時間にやる定番のことがあるといいと思います。携帯をみるのもいいですが、出来れば画面から目を話せるものだとリフレッシュになっていいです。あと結構話すので家で授業受けられるのがベストだと思います。家で受けると授業前後のルーティーンも変わらないし、環境が安定しているとモチベーションの安定にもつながると感じました。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

プログラムに参加した目的が英語に慣れることで、英語をたくさん使ったことで英語に関わるハードルが下がったと感じます。想定外にライティングのスキルが上がったなどの変化もありますが、多少英語に慣れてこの先英語を使っていく上での土台作り、きっかけになったことが一番大きな変化だと感じます。私が英語を勉強する動機は研究をするために英語の論文を苦に思うことなく読めるようになることなので、この先は興味ある論文や本を読んでみて専門用語や独特の言い回しを身に着けるなど、より専門のために実用的な英語を目指していきたいです。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

# 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300字程度)

今回のプログラムでは午前2時間のグループレッスン、午後3時間の発音や会話練習中心のマンツーマンレッスンを行った。特に自分の成長を感じたのはマンツーマンレッスンである。今まで発音記号やアクセントについて勉強したことがなく、一から学べたことは大きな学びとなった。プログラム後半になるにつれ自分の発言数が増えてきたなと感じることができた。文法が間違っていたり、めちゃくちゃな英語になってしまってもとりあえず話すということは非常に重要で、話そうとすれば相手も聞こうとしてくれるし自分の成長にもつながる。また、話そうとす中でなかなか単語が出てこないことに気づき、今後英語学習を続ける上で自分に単語が足りていないと気付かせてくれた。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300字程度)

オンライン留学では現地の学生と関わる機会はなかったのですが、先生と話していて様々な文化の違いに触れることができました。日本とフィリピンでは言語はもちろん、食べ物や人のかかわり方など多くの違いがあり驚くことばかりでした。もっと日本の文化についての知識を調べてたくさん紹介できていたらもっと留学が楽しくなっていたと思います。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300字程度)

大きなメリットはやはり家で授業を受けられることです。私は塾のバイトをしているのですが、毎週生徒に会うため長期間遠出することができず現地に行くこと難しいと考えていましたが、オンラインプログラムであれば両立することができます。また、食べ物や部屋などの環境の変化がないためストレスも少なく授業に集中することができました。デメリットとしては現地の文化にあまり触れられないこと、たびたびネットの接続の問題が起こることなどがあります。文化交流については実際に現地に留学に行った方の話を聞いていてオンラインでは経験できないことが多いなと感じました。また、これは人によるとは思いますが、長時間パソコンの画面を見続けるのが少し辛かったです。

オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300字程度)

日本とフィリピンの時差は1時間と小さいのであまり気にならなかったです。オンライン授業は実際に会わないためどうしても対面よりも話しづらさは感じます。とにかくちょっとでも頭に思い浮かんだらすぐに声に出すことが大切です。とくにグループレッスンで自分が指名されていなくても全体に聞かれてるときはどんどん話さないと授業も盛り上がりませんし英語も身につかないと思います。マンツーマンレッスンで思ったより話せないことを実感もっと頑張ろうと自然とモチベーションは保たれたのであまりモチベーションを上げようと頑張ったことはなかったです。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300字程度)

留学前は漠然と海外留学をしてみたい、英語が話せるようになりたいなと思っており、短期の現地留学に行く前に英語力をあげたいと思いこのプログラムに参加しました。しかし、このオンラインプログラムを通して長期の留学に行ってみようという気持ちが強まりこのプログラムの途中から留学について調べたり、TOEFLの勉強を並行して行うようになり勉強のモチベーションも上がりました。私は海外の企業で働きたいと思っているのでそのために長期の留学に行きたいと考えています。留学を通して自分のやりたいことが前よりも少し鮮明になったと感じています。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

# 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300字程度)

マンツーマンレッスンでは、アクセントや英語を流暢に話すためにはどのようなことを意識しなければならないのかについて学びました。また、それぞれのトピックに応じて先生と意見を出し合ったり、文章を書いたりしました。グループレッスンでは、決まったトピックに応じてほかの生徒や先生と意見を言い合い、アクティビティをしました。このレッスンでは、日常のコミュニケーションを重視するため、マンツーマンレッスンに比べ、より実用的なことを学べたと思います。英語力の劇的な向上はありませんでしたが、難しいテーマについてもためらわず話せるようになり、日本やフィリピンの文化のことも改めて知ることができました。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300字程度)

オンラインのため、基本授業のみでしたが、授業内で日本の独特な文化やフィリピンの文化を伝えあったり、伝言ゲームやジェスチャーゲームなどをしたりと、学ぶことは英語だけではなくと思います。特に文化を伝えあう時間は、外国に留学に行くときに話せるネタにもなったので、充実した経験になりました。また、マンツーマン授業で時間が余ると、先生とお互いの国のことやお互いの趣味についてなどたわいなしな話ができたとします。普段当たり前だと思っていて意識していないことを再認識できるいい機会になったと思います。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300字程度)

メリットは、自分の生活バランスを崩さずに授業に参加できたということです。海外に行ってしまうと、新しい生活に慣れなければならない不安や緊張等があると思いますが、英語力以外のことで心配すべきことはあまりありませんでした。また、授業内でデバイスを使ってゲームをしたりするのは、現地に行くときにはあまりできない体験だと思うので良かったと思います。デメリットは、実際にフィリピンの文化に触れることができないため、写真を提示されても、イメージしづらい点です。また、デバイスのトラブルがしばしばあり、提示された資料が見つからないこともありましたが、気にならない程度でした。

オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300字程度)

先生が、生徒の意見をよく聞いてくれて、拙い英語であっても、確認してくれたり、詳しく説明するように促されたため、自分の発言に自信を持つことが出来ました。また、先生が具体的に私の言ったことのどこに共感したのか、気に入ってくれたのかを話してくれたため、モチベーションにつながりました。また、宿題でその日学んだことを毎日書いていたため、自分に何が足りなくて何がよかったのかをフィードバックすることで自分の成長を感じられてモチベーションにつながりました。また、復習時に、言いたかったことを調べたり、他の言い方はなかったのかを調べることでモチベーションにつながりました。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300字程度)

プログラム参加前と参加後では、英語に対する向き合い方が変わりました。私はスピーキングが苦手で、参加前はその向上を目的に学習に励んでいましたが、今は英語を一つのツールのように考えています。もちろん、英語力の向上は大切ですが、参加後は英語を話せたとき、英語を通じて、自分は相手に何を伝えたいのか、何を知りたいのかを大切にしています。私は、今回のプログラムを通して、自分のことや日本という国についてあまり知らないことに気づいたので、英語を通して知り、たくさんの人に伝えられたらいいなと思っています。また、異文化理解や異文化共生に興味があるため、二年生になったら、カナダなどの様々な文化が共生している国に短期で留学したいと思っています。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

# 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300字程度)

このプログラムでは、少人数のグループレッスンとマンツーマンのレッスンのどちらにも参加した。いずれの授業形態においても自分の意見を英語で伝える機会が非常に豊富であったと感じている。特にマンツーマンレッスンでは、先生がその授業ごとに設定されたトピックに基づいて次々と私の意見を尋ねるというスタイルだったため、自分の言葉で的確かつ速やかに意見を伝えることが求められた。新しい文法や単語を多く吸収することではなく、自分の言葉で沢山話すことがプログラムの目的であり、私自身はそれを達成し、さらに今の自分がより英語力を身に付けるには何が必要かを見つめることができた。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300字程度)

このプログラムでは現地の学生と交流する機会は設けられていなかった。だがウェブカメラ越しでも先生と交流を深めることができたと感じている。3週間のプログラム期間中に担当の先生が変更することはないので、毎日同じ先生と授業をしていくことになる。自分の感じ方や意見、趣味嗜好がトピックになるため、学生も先生もオープンに自分の意見を伝え合った。この点が、先生との心理的な距離を縮めることに繋がったと感じている。また、先生は私たちが多少時間をかけて考えたり、うまく言葉が出てこなかったりしたときでも、急かすことなく待っていてくださるなど、あたたかい方々であったため、安心して授業を受けることができた。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300字程度)

オンラインプログラムのメリットは、フレキシブルに参加できる点だと考えている。ネット環境が整っていれば、自宅や学校、外出先、職場などどこからでも参加できる。私も実際に、アルバイトの時間に間に合うように、職場で授業を受けたことがあった。また自宅から受講すればリラックスして臨むことができる。自分の日常生活に対して、大きな時間的、心理的制約を受けることなく参加できることがメリットだ。反対にデメリットとしては、声が聞き取りにくいことがあることだ。電波の状態によって声がクリアでなかったり、発音の練習においては的確な学びが難しかったりという問題がある。画面を長時間見ることによる疲労もデメリットとして挙げられる。

オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300字程度)

オンライン授業は自宅から受けることがほとんどであった。プライベートな空間である自宅から受講することは、気持ちにメリハリがつきにくいという点もあると考えられる。授業に集中して取り組めるよう、生活リズムを乱さないこと、早めに授業準備や宿題を完了させることを心掛けた。また授業内では、対面授業と異なりクラスメートだけで声を掛け合うことは難しい。そのため、学生同士で日本語で言葉を交わすということがなかった点は、英語力を伸ばすという目標において良かった点だと考えている。日本語にほとんど頼らず英語だけで授業を受けることが、英語力の上達に大きく影響するといえる。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300字程度)

私はこのプログラムに参加して、英語に対する自信と熱意がさらに強くなったと感じている。3週間のプログラムを修了し、英語だけでの授業をやりきることができたこと、授業内で積極的に英語を使って自分の言葉で伝えられたことに達成感を感じている。また、自分にまだ足りないこと、例えば語彙や表現の幅の狭さ、イントネーションや感情の込めた話し方などを実感した。どうしたらより英語力を上達させられるか、特にスピーキングの面において何が必要かを確認することができた。プログラムを通して、英語を話すのが好きだということを改めて感じたので、今後さらに英語力を磨く経験を増やし、自分の興味を追究していくことで、語学力の向上や進路の模索に努めたいと考えている。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

# 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

プログラムでは主に発音の矯正、スピーキング能力とライティング能力の向上が全体の目標であった。3時間のマンツーマンレッスンでは自分の発音が良くなるまで何度も何度も発音の練習をした。そしてただ見よう見まねで練習するだけでなく人間の舌の細かい構造とどこをどのように使うのかを教えてくれたためとてもためになった。そのため、プログラムが終わるころには苦手であったRの発音もたやすく出来るようになっていた。また、毎日必ず先生とあるテーマについて意見を出し合うという授業を受けていたため、はじめの頃よりも意見をスラスラと言えるようになっていた。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

現地の学生と関わることは出来なかったが、同じ大学でも違う学部の学生や大学院生の方と授業外でも情報共有しなければならない場面があったため様々な人と交流する力は身についた。実際にその国に行ったわけではないためオンラインのプログラムが終わると日常に戻ってしまい授業以外の活動があまりなかったが、ライティングの宿題が提出期限が短い中で複数出たため、短い間によりクオリティの高い文章を書く力も身についた。そして、スピーチをより良い発音で発表する練習をしなければならなかったため積極的に英語を練習する力も身についた。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)

実際にその国に行くわけではないためなれない習慣や食事などで体調を崩すことがないのが最大のメリットであると思う。また、実際の留学と比べ費用がかなり安いため経済的なメリットもあった。しかし、デメリットとしてはインターネットの接続トラブルなどが挙げられる。自分が接続出来ずに困るということはほぼなかったが、グループレッスンで他の生徒がインターネットトラブルになり授業が一時中断されてしまうということがあった。あまりスムーズではなかった印象がある。そしてまた、先生同士の連携が取れていないことも多々ありスケジュールの変更を余儀なくされることが多かった。対面で問題を伝えることが出来ないため大変であった。

オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)

3時間のマンツーマンレッスンではやったことのないような早口言葉のトレーニングなどで発音の矯正を行っていたため、次の日は言えるようになりたいという気持ちがモチベーションとなった。また、毎日先生と、あるトピックについて意見を出し合う場面があったため、次の日はもっと多くの文章を話そうと意欲が起こった。そして2時間のグループレッスンでは毎回の授業の初めに一人一つ豆知識を披露する場面があったため、今日はどのような情報が得られるのかと楽しみになりモチベーションにもなった。自分で準備する際も他の学生が驚くようなネタを持っていこうと楽しむことが出来た。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

今後の目標についてプログラム参加前は外国の方とコミュニケーションを堂々ととることが出来るようになることと設定していた。しかしオンラインプログラムが終了し大学で留学生の友達と会った際、質問を何度も聞き直さず堂々と会話をする事が出来たため、達成することが出来たと思う。そのため今後の目標としてはやはり頭の中で日本語を一切使わず翻訳の過程を取らずにスラスラと英語を話すことが出来るようになることである。そのためにはまず英語以外使ってはいけない、英語でなければ通じないという状況に置かれることも大切となるため次は実際に海外に出向いて英語能力を高めたいと感じた。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。